



鹿折まちづくり協議会に参加しましょう！

鹿折まちづくり協議会（鹿折まち協）は、地区の皆さんの声をまちづくりに反映するために活動しています。

こんな活動を行っています：

- みんなの声を聞く：サロンや様々な住民会合を開催
- 行政につなぐ：行政側と定期的な会合を開催
- 地区の復興事業に関する情報を収集・提供
- その他、鹿折のまちづくりに関する各種相談

事務所の営業時間：

事務局員が下記の時間帯に事務所に駐在しています。

★毎週 月・水・金、9:00～16:00

★事務所：鹿折復興マートA棟2階

・気仙沼市新浜町1-3（路線バス：大沢線「新浜町」）

三陸沿岸道路の現地見学会を行いました

10月31日（土）、三陸道の現地見学会を開催しました。鹿折地区住民33名の方が参加し、国土交通省仙台河川国道事務所や工事請負会社による現場での説明を受けながら工事現場を見学しました。

まず、大峠山地区道路改良工事現場では、道路が交差する部分の構造物を見学しながら、道路が通る高さ、現場での工夫点などの詳細な説明を受けました。また、気仙沼湾横断橋については、海の中で模型や展示物を見ながらの概要の説明を受けた後、朝日町埠頭付近の現場へ。そこでは、橋脚工事の概要や進捗状況、災害時に津波漂流物を十分に回避できる橋桁高を有していることなど機能面での説明もありました。また、橋桁が近くの気仙沼漁協の建物よりも高くなることも示され、その高さにみな感心。

今回の見学会を通じて、三陸道完成に向けた実感と具体的なイメージがわいて、将来に向けての期待が膨らみました。



鹿折地区の市政懇談会

10月29日（木）は鹿折地区の市政懇談会でした。市長や副市長、市役所幹部らと住民が直接対話できる貴重な機会。以下のようなことが話されました。

・行政区再編について：災害公営住宅団地等により大幅に世帯数が増加する行政区は独立した行政区を新設、小規模な住宅団地は既存行政区に編入、という方向性のようです。いずれにしても、行政委員や自治会の役員、地域の人達と意見交換をしながら固めていくとのことでした。

・市立病院について：赤岩杉ノ沢に建設中の新病院は、現在の診療科と同じ18科を備え、地上6階・地下1階、病床数340床の規模。平成29年11月開院に向けて工事中です。

・大船渡線について：「復興に貢献する持続可能な交通手段としてBRTを提案する」というJRの回答が説明されました。大船渡市や陸前高田市への配慮という観点から、気仙沼市としてもBRT化受け入れざるを得ないだろうという説明でした。

・緑のふれあい広場について：公営墓地となる緑のふれあい広場の代替地については、市の「気仙沼市運動施設の在り方検討委員会」が検討しています。震災前のような多目的広場というよりは、他地区の広場との役割分担の中で、ある程度用途を特化させ、スポーツ利用中心に考えていくという方針が説明されました。

・浦島地区の県道について：現在の県道は高さがなく、満潮時には海面がギリギリまで上昇するため、かさ上げと拡幅を望む声がありました。県の事業であり明確な答えは出せないが、現時点では難しいとの回答でした。

・鶴ヶ浦地区から大島架橋へ通じるS字型道路について：道路幅が狭く、車がすれ違う時に危ないという話もありました。これに関しては、施工時に市役所側も十分考慮したとはいえ、再度現場を確認するという回答でした。

～最近の活動まとめ～

【構成員会合の話し合いの内容】

各行政区から選出された構成員で進める構成員会合。毎週集まりを持ち、テーマに沿った検討を重ねてきました。9、10月は「暮らし」のテーマのもと、以下のようなことが検討されました。

【買い物】 地区内で買い物が完結できること。また、地元特産物を持ち寄る朝市が出来る場がほしい。

【道路】 道路や側溝の清掃については、自治会が管理しやすいものが望ましい。**【景観・自然】** 鹿折は山あり川あり海ありの景観豊かな地域。それを生かした和みの景観、癒しの空間を形成したい。**【医療・福祉】** 医療施設の充実だけでなく、地域の人、特に高齢者が元気で暮らせる地区を目指したい。そのためには運動できるスペースや、手芸など芸達者な高齢者が多く中、それらを販売・活用できる場が必要。

【子育て】 自然の遊びが出来る場所、子どもたちを大人たちが見守り、多世代交流が生まれる雰囲気や環境づくりが大事。**【集まる】** 地区の方々が集まりやすく使いやすい公民館、福祉センターを望む。室内運動スペースがほしい。



【鹿折復幸マート移転1周年イベント開催】

10月11日、鹿折復幸マート移転1周年となるイベント「バニング魂」が開催されました。鹿折まち協も協力団体として参加しました。カスタムカーが全国各地から100台以上鹿折に集まりました。サンマ焼きやすり身汁が配布され、地元の方も外からいらっしゃった方も一緒にイベントを楽しみました。ご協力いただいたみなさま、ご来場いただいたみなさま、ありがとうございました。



【関上まちづくり協議会との交流会】

10月3日、名取市の関上地区まちづくり協議会の訪問を受け、意見交換会を行いました。関上まち協は復興事業に合わせたタイミングで検討を行い、事業計画への住民意見の反映がうまく進んでいる様子。事業の進捗自体は鹿折のほうが早いようです。鹿折まち協は、自治会との連携がうまくいっていること、事務所を構え情報発信拠点を持っていること、若者や女性の参加が増えていることや、ソフト面のことも検討していることなど先方の関心を呼んだようです。互いに課題を抱えつつもそれぞれに頑張る姿を共有でき、いい刺激になりました。



【浦島地区振興会の活動】

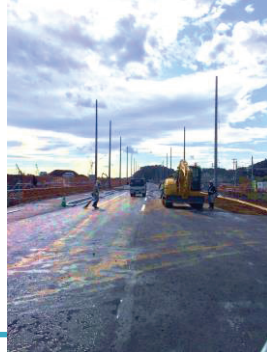
10月14日に浦島地区振興会との情報交換会を開催しました。鹿折まち協はH26年度から鹿折全地区を対象を広げており、今後、三陸道や大島架橋のことなど双方の協力が必要なテーマが出てくるに依り連携を図っていくこととしています。

浦島地区振興会は、①閉校した浦島小学校の施設の活用法の検討（施設利用）、②「海・山・里・人」といった地域資源の発掘やそれらを活かした観光事業（地域資源開発）、③郷土芸能の継承や地域の防災・減災対策などに関する取り組み（環境・文化）を実施し、浦島地区住民の親睦を図るとともに、住み良く活気のある地域づくりを目指し、平成25年4月に設立されました。平成25年3月に閉校した浦島小学校の当面の活用方法として、浦島地区振興会や各自治会が活動する際に一部教室等を使用することを市に対して提言しました。現在は、市が小学校施設を遺跡調査などで使用していますが、将来的な活用方法を模索するべく振興会で全国各地へ視察に行ったり、住民アンケートを実施したりと検討を重ねています。体育館や教室では、地域住民が主体となり地区の運動会やなつかしの写真展などを企画しています。平成25・26年度には観光事業の一環として”週末は気仙沼。～海の仕事と人に出逢う旅～”というツアーを実施し、全国から集まった方々に養殖体験や見学を通じて四力浜の暮らしを満喫して頂きました。振興会のサポートをしている日本国際ボランティアセンターの岩田さんは「地域の人々と触れ合う中で地域の魅力や現状を知ってもらい、何よりも地域住民が張り切っておもてなしをしていた事が印象的だった」と語っています。”週末は気仙沼。～海の仕事と人に出逢う旅～”は今年度も企画中です。



鹿折地区の復興状況

【災害公営住宅】鹿折地区の災害公営住宅の工事も順調に進み、現場では一番早く完成する東側の棟の建設が始まっています。来年8月には第一期が、同12月までには全284戸分が完成する予定です。



【県道】現在使われているのは仮設の道路で、そのすぐ隣に本設の県道が造られています。一部アスファルトが敷かれ、電柱も建ち始めています。完成した所から順次開通していきます（11月6日からすでに一部開通しています）。

（仮称）1号公園の整備計画図

鹿折川

今年2月と6月に鹿折中学校で行ったワークショップ。そこで出た意見を反映させた（仮称）1号公園の整備計画図が出来ました。カップルで歩くと距離が縮まっていく「青春の道」、様々な用途に使える多目的広場、子どもが安心して遊べる場所、漁船型の遊具や土管、など様々な意見が取り入れられました。



*今後の詳細設計において、整備内容を変更することがあります

【かもめ商店街】

鹿折のかもめ商店街の11店舗が、宮城県から第15次中小企業等グループ施設等復旧整備事業（商店街型）の事業計画の認可を受けました。

商業者の土地を集約換地することによってこれまでの商店街が地域における役割を果たせる環境を整えてきました。さらに、鹿折まち協の協力の下、会合を通して、集約換地を受けた街区周辺の商業者も含めて商店街の復旧・復興の具体的な内容の検討を重ねています。鹿折地区の生活の核となる商店街として復興し、一丸となって共同事業をおこなっていくために、商店街型グループ補助金を利用し、いち早く地域事業者による復興を目指しています。今回の事業計画には共同事業も盛り込んでおり、商店街として地域への公益的な役割も含めてより暮らしやすい環境の形成に寄与することを目指します。



【浦島地区防集進捗状況】

四ヶ浜地区で集団移転が予定されている、3地区52件のうち、現在入居済または建築中の住宅は小々汐・梶ヶ浦で21軒。大浦については、造成作業がほぼ完了し、宅地の引き渡しが始まっています。住民と建築士などのアドバイザーで決めた”まちづくりルール”に沿って住宅再建が進んでいます。



今後の行事のお知らせ： ～ぜひお気軽にご参加ください～

- * 11月14日(土) 13:00～ まちづくりサロン “認定こども園～みんなで考えて提案しよう～”
鹿折・中才保育所と鹿折児童館の機能が入る新しい認定こども園について、一緒に考えてみましょう!
- * 11月15日(日) 14:00～16:00 中みなと町の歩行者専用道路についての検討会
場所：清水JV事務所 大会議室(新浜町1-2 鹿折復幸マート隣)
歩行者専用道路計画について、市都市計画課より状況説明を受け、意見交換を通じ地域として方向性を決めます

活動メンバー募集!

鹿折でいま何がどうなっているのか知りたいという方や、専門的なことは良く分からないけど地域のことをよくしたいという方。まずはサロンや構成員会合などの見学に来てみてください。



【お知らせ】

鹿折見学台のそばに設置されてある献花台と石碑。ここ一帯のかさ上げがもうすぐ始まることから、11月初めに撤去されました。見学台そのものは年明けから撤去がなされる予定です。

鹿折まち協副会長・熊谷英明さんからのメッセージ

鹿折まち協のメンバーとなってまだ1年あまりですが、やっと慣れてきました。現在、週二回夜、構成員会合として集まるのが今や生活の一部になってしまいました。幸いにも仲間にも恵まれ、楽しく活動しています。最初は皆固かったですが、いまはずいぶん意見が言いやすい雰囲気になり、話し合いも盛り上がっています。リラックスして集まれる場です。これからはもっと若い人達の意見が鹿折のまちづくりに生かされるようにしていきたいと思えます。



【気仙沼方言アラカルト】

らつつあね：乱雑だ
どうしようもない
ちようどでない：まともでない
はだでで：あらたまつて
かばねやみ：なまけもの

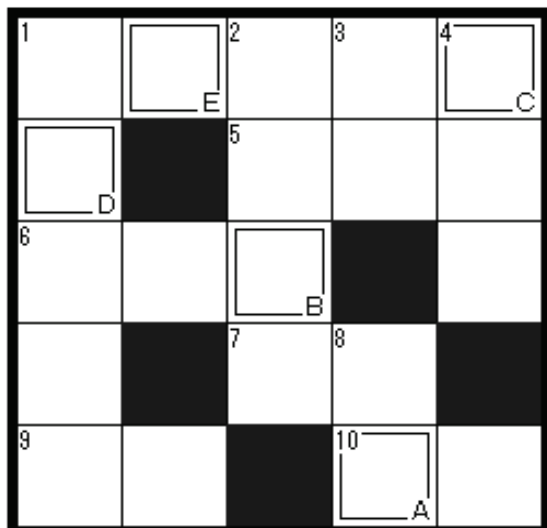
当まちづくり通信は、気仙沼市のホームページでもご覧いただけます。<http://www.city.kesenuma.lg.jp>
トップページ⇒ジャンル別メニュー「都市計画・まちづくり」⇒「まちづくり」から

* Facebookで鹿折まち協の近況や鹿折の復興状況についてアップデートしています。



「鹿折まちづくり協議会」で検索し「いいね」をクリック!
*メールでのお便りは、shishiori14@gmail.com まで。
*電話では、070-1248-6208

クロスワードパズル



タテ

- 【タテ1】物体を真上から見た図。
- 【タテ2】図と表。
- 【タテ3】繊維などを長くより合わせた物。ロープ。
- 【タテ4】陸地をほって船が通れるようにした水路。
- 【タテ8】海や川が陸と接する境目。水ぎわ。

ヨコ

- 【ヨコ1】発作的に頭部の片側に起こる激しい頭痛。
- 【ヨコ5】災難をさけて、安全な場所に行くこと。
- 【ヨコ6】すぐれていると認められること、誇りに思うこと。ほまれ。
- 【ヨコ7】体などが浮かぶこと。体などを浮かす物。
- 【ヨコ9】位置・時間などが少しはずれていること。考え方や感じ方に少しへだたりがあること。
- 【ヨコ10】渋い味。渋み。「〇〇柿」

□の5文字で言葉を作ろう! 『

』 ⇒回答は次号

前号の回答： 「カイリキ」